

第4回 シンポジウム 生物物理学の新展開

2017年 **4月28日** (金) 16:50-18:25

東京大学本郷キャンパス 理学部4号館 1220 教室

東京都文京区本郷 7-3-1 最寄駅：丸ノ内線・大江戸線 本郷三丁目駅、南北線 東大前駅、千代田線 根津駅

生物は物質で構成されている。したがって物理学を駆使して、生物やその根源にある生命を理解することができるはずである。この立場に立ち、生物物理学は、生命現象を分子や細胞に要素還元するとともに、それらが相互作用するシステムとして生物・生命を捉える。さらに実験と理論の両アプローチから、生物・生命の普遍的理解を目指す学問である。

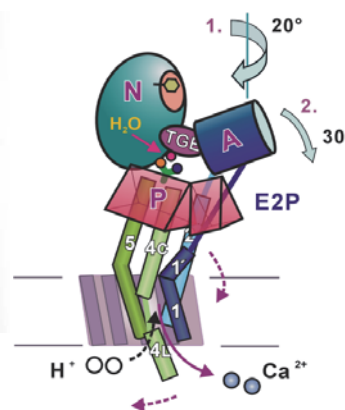
近年の技術革新などによって新展開を見せている
生物物理学研究の面白さを、
学部生にもわかりやすく解説します。



樋口 秀男 細胞や分子の動き

野口 博司 タンパク質による生体膜の形状制御

岡田 真人 人工知能と物性理論



参加無料 学部生歓迎 終了後に懇親会あり

